



タールボール

2010.03.25

砂嘴先端近くの海側で、ときおり目にするのが黒くて奇怪な塊り。

石のようにも見えるのだが、硬くない。

棒を突き刺すと簡単に割れる。

気持ち悪いので詳しく調べていないのだが、タールボール(もしくはパティー)と呼ばれる嬉しくない客なのだろうか。荒れた海の置き土産か。

20cm ほどの巨大なものも散在する。

10,11 月にも目にする事があった。

季節にかかわらず、かなりの数が漂流しているのかもしれない。



割ってみた



点々と黒い塊り。遠くに水鳥たち

【重要な訂正】

地質学を専門とする方から、これはタールボールではなく、泥炭ないし、泥炭質の泥の塊、ではないかとのご指摘を受けました。

今年も海辺を歩いていて何度か同様の塊に遭遇しました。

自分でもあらためて割って触れて(舐めてはいません)、あるいは臭いを嗅いだりしてみましたが、油性の感触は得られませんでした。

また、波打ち際で砕くと容易に海水に流れ流れるようです。

よって、目下のところこの写真の物体をタールボールとするのは誤りだと考えています。

時化た後の浜辺に打ち上げられていることの多いこの塊、どこから流れてくるのでしょうか。

2016.03.03 ころからこのページの閲覧が急に増えました。

おそらく“タールボール”のキーワードでヒットして来られるのでしょうか。

どうやらそのころ、新潟県の佐渡海岸に大量のタールボールが漂着したということを後で知りました。

2014.11.10 市民カレッジ講座[配布資料を訂正](#)した文章を、遅まきながらこちらにも転載して誤りを訂正させていただきます。

なおまた、「[石狩川河口での遭遇](#) - タールボール」も参照していただければ幸いです。

--- 2016.03.08